

2019年8月 27日  
第 122号

全労連

全労連  
憲法・平和グループ

# 憲法 平和闘争ニュース

「あいちトリエンナーレ 2019—表現の不自由展・その後」が中止

## 暴力と政治的圧力 問われる「表現の自由」のあり方

「あいちトリエンナーレ 2019—表現の不自由展・その後」が中止に追い込まれたことに抗議し、再開を求める集会やデモなどが各地で行われています。神戸市では、トリエンナーレの芸術監督、津田大介氏を招き8月18日に開催を予定していたシンポジウムが、愛知での展示中止以降、市や実行委員会事務局に抗議の電話やメールが相次いだということで中止になりました。神戸市内で開催される芸術祭の一環で市などが主催し、津田氏ら3人が「アートは異物を受け入れるのか」をテーマに登壇予定でした。シンポの中止に抗議し、31日には「津田大介さんの神戸シンポ中止」問題を考える集いが行われます。憲法21条が保障する表現の自由に対する暴力や政治的圧力が強まる中、表現の自由のあり方が問われています。

愛労連は8月7日、幹事会として声明『「あいちトリエンナーレ 2019」『表現の不自由展・その後』の中止に抗議し、早期再開を求める』を发出、県と名古屋市に送付しました。愛知県医労連が抗議文、MICが声明を出していますので、ご紹介します。

【声明】「あいちトリエンナーレ 2019」「表現の不自由展・その後」の中止に抗議し、早期再開を求める

2019年8月7日

愛知県労働組合総連合幹事会

8月1日から開催された国際芸術祭「あいちトリエンナーレ 2019」の企画展「表現の不自由展・その後」が、わずか3日で中止に追い込まれた。ここに展示されているのは、日本で過去に何かしらの理由で展示ができなくなってしまった16組の作品とされている。中止の理由は、従軍慰安婦をモチーフにした「平和の少女像」や昭和天皇をテーマにした作品に対して、「ガソリン携行缶を持って行く」というテロ予告や脅迫などが殺到し、安全に展覧会を運営することが危惧されるとしている。こうした暴力による表現弾圧は糾弾を免れることはできないし、不当な要求や脅迫にひるまず、憲法で定められた「表現の自由」と来場者の安全を守ることこそいま求められる。

8月6日に参加アーティスト72名が賛同した抗議声明では次のように述べられている。「私たちの多くは、現在、日本で噴出する感情のうねりを前に、不安を抱いています。私たちが参加する展覧会への政治介入が、そして脅迫さえもが…それがたとえひとつの作品に対してであったとしても、ひとつのコーナーに対してであったとしても…行われることに深い憂慮を感じています。7月18日に起きた京都アニメーション放火事件を想起させるようなガソリンを使ったテロまがいの予告や、脅迫と受け取れる多くの電話やメールが関係者に寄せられていた事実を私たちは知っています。開催期間中、私たちの作品を鑑賞する人びとに危害が及ぶ可能性を、私たちは憂い、そのテロ予告と脅迫に強く抗議します」。そして最後に、芸術祭の回復と継続、自由闊達な議論の場を求めていることに愛労連は賛同する。

多様な考えがある中で、自分たちと意見が異なる言論や表現について、テロ予告などの暴力を振りかざすことは絶対に許されない。ここ数年、安倍政権による機密保護法や集団的自衛権容認、安保関連法、共謀罪などの強行は、戦前の日本を思わせるものでその時代逆行を深く憂慮する。名古屋市の河村市長が「日本国民の心を踏みにじる行為」として中止を求めたり、菅官房長官が文化庁の補助金交付の是非を検討すると述べたことは、憲法21条が保障する「表現の自由」を犯し、これら公職者の発言は、検閲そのものであり強く抗議する。

私たちは、実行委員会と行政、警察が出展されたアーティストや芸術祭を楽しみにしていた人々の意見を聞き、暴力や脅迫、介入に屈することなく、来場者の安全を確実に確保し、早期に再展示されることを望むものである。

以上

**\*愛知県医労連 8月9日に河村名古屋市長あてに抗議文**

<http://www.aichi-irouren.jp/2019/0809-145713.html>

**\*MIC(マスコミ文化情報労組会議) 8月4日に声明「『表現の不自由展』が続けられる社会を取り戻そう!」を发出**

[http://www.union-net.or.jp/mic/seimei/2019\\_08\\_04-MICseimei.pdf](http://www.union-net.or.jp/mic/seimei/2019_08_04-MICseimei.pdf)

**●「津田大介さんの神戸シンポ中止」問題を考える集い**

日時 8月31日(土)18~20時

場所 神戸市勤労会館4階 405・406号室

- 内容
- ①神戸市会議員2名から経過説明
  - ②木下智史(関西大学教授・憲法)「表現の自由」
  - ③伊藤健一郎(立命館大学講師)
  - ④参加者による意見交換
  - ⑤アピール採択

参加費 500円(大学生・小中高生・生活困窮者 無料)

共催 憲法改悪ストップ兵庫県共同センター

こわすな憲法!いのちとくらし!市民デモHYOGO

**★当面の日程**

◆総がかり行動「19日行動」

9月19日(木)18時30分~ 国会議員会館前

10月19日(土)15時~ 国会議員会館前

◆日朝ピョンヤン宣言17周年

「朝鮮半島と日本に非核・平和の確立を!日朝国交正常化交渉の再開を!」

9月17日(火)18時30分開会(18時開場)文京区民センター3A

[http://www.kyodo-center.jp/wp-content/uploads/2019/07/190917syuukai\\_chirashi.pdf](http://www.kyodo-center.jp/wp-content/uploads/2019/07/190917syuukai_chirashi.pdf)

◆対韓輸出規制拡大反対!韓国除外「政令」撤回!安倍政権は「徴用工問題」の報復 やめろ!対話で解決を! 8・27 官邸前緊急行動

**本日!!**8月27日(火)18:30~ 首相官邸前

<http://www.kyodo-center.jp/wp-content/uploads/2019/08/20190827.jpg>

◆憲法共同センター第6回総会

9月27日(金)18時~20時30分 全労連会館2階ホール

記念講演 渡辺治一橋大学名誉教授

<http://www.kyodo-center.jp/wp-content/uploads/2019/08/20190927soukai.pdf>